

躍動感に満ちた、室内楽の醍醐味！

チェコ・フィルハーモニー・ゾリステンは、名門チェコ・フィルが誇る弦楽器による稀代のアンサンブルである。2011年待望の初来日公演を行い好評を博した。豊かな響き、格調高いサウンドは比類がなく、まさに精緻極まる音の世界であり、味わい深い室内楽の醍醐味を感じずにはられない。注目のピアニストとの共演による再来日公演に、大いに期待が寄せられる。



ボフスラフ・マトウシェク (ヴァイオリン) Bohuslav Matoušek, *violin*

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団やブラハの春国際音楽祭で常任客演奏者として活躍しているチェコを代表するヴァイオリニスト。ブラハ音楽アカデミーにてヤロスラフ・ペケルスキーとヴァーツラフ・スニーチルに師事。1970年ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリン・コンクールで審査員特別賞とスイスの奨学金を獲得し、1972年ブラハの春国際コンクールで第1位受賞。1977年読売日本交響楽団のソリスト兼コンサートマスターとして招かれ、幅広いヴァイオリン協奏曲のレパートリーを披露。1980年帰国後15年間シュターミッツ弦楽四重奏団のリーダーとしても活躍。1995年よりソロ活動に力を注ぐようになる。CD録音も数多く、2008年にはクリストファー・ホグウッド指揮、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団とマルティヌーのヴァイオリン(ヴィオラ)とオーケストラのための作品全集4枚をリリースし好評を博した。

オタ・バルトシュ (ヴァイオリン) Ota Bartoš, *violin*

ブラハ音楽院、そしてノラ・グルムリーコヴァーに師事しブラハ音楽アカデミーを卒業後、世界的ヴァイオリニスト、ナタン・ミルシテインとオレグ・カガンの下で教育を完了する。1982年にはマルティヌー作品の最も優れた演奏に贈られるチェコ音楽財団賞を獲得し、ベートーヴェン・ヴァイオリン・コンクールでは桂冠賞を受賞。1986年にチェコ・フィルハーモニー管弦楽団に入団。チェコ・フィルハーモニー八重奏団とプロ・アルテ・アンティクァ・ブラハのメンバーでもある。

ヤロスラフ・ポンヂェリーチェク (ヴィオラ) Jaroslav Pondělíček, *viola*

テプリツェ音楽院にてズデニェク・コラーシュスキーにヴァイオリンを師事し、その後ヴィオラ奏者への転向を決意。ブラハ音楽アカデミーでは、かの有名なメタナ・カルテットのミラン・シュカンパに師事する。1985年にチェコ・フィルハーモニー管弦楽団に入団し、2003年より首席ヴィオラ奏者を務めている。プロ・アルテ・アンティクァ・ブラハのメンバーでもある。

フランティシェク・ホスト (チェロ) František Host, *cello*

ブラハ音楽院にてヴィクトル・モウチカに、さらにブラハ音楽アカデミーにてヨゼフ・フッフロに師事。1975年にチェコ・フィルハーモニー管弦楽団に入団し、1983年より首席チェロ奏者兼コンサートマスターを務めている。ソリストとして、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、ブラハ交響楽団、マドリード国立管弦楽団、その他国内外で多くの室内管弦楽団と共演している。音楽活動で最も力を注いでいるのが室内楽演奏で、チェコの名だたる演奏家たちや室内アンサンブルから多くの引き合いが来る。チェコ・フィルハーモニー八重奏団のメンバーでもあり、またコントラバスのイルジー・フデッツと20年以上にわたり、“デュオ・ディ・バツ”を組んでいる。CD録音も数多い。

木田左和子 (ピアノ)

桐朋学園大学卒業後、ポーランド政府給費留学生としてポーランド国立ショパン音楽アカデミー(現ショパン音楽大学)研究過程に留学。留学中リサイタル、オーケストラとの共演の他、シマノフスキ、ルトスワフスキ等ポーランド作品の放送録音を行う。帰国後、リサイタル、日本シマノフスキ協会例会、NHK-FM放送の他、東京ゾリステン・サロンコンサートではソロやヴァイオリンとのデュオで毎回ポーランド作品を演奏。ポーランド・ラジオ・オーケストラとの放送録音、ヴィラノフ弦楽四重奏団との共演の他、ポーランド・カリシュ・フィルハーモニー、ヴァウブジフ・フィルハーモニー、山形交響楽団、東京ニューシティ管弦楽団の定期演奏会にソリストとして出演。1983年第1回シマノフスキコンクール(ポーランド)にてディプロマ、1993年第2回ウィーン国際コンクール(オーストリア)にてピアノ部門第2位及びジャン・フレデリック・ペルヌー賞受賞。2005年愛知万博ポーランド館にてリサイタル、2010年日本ショパン協会主催“ショパン・フェスティバル2010in表参道”にてリサイタルを行う。これまでに佐久間美智子、岡崎陽子、福岡敏彦、森恵子、上野久子、須田真美子、バルバラ・ムシンスカの各氏に師事。現在、昭和女子大学非常勤講師。



ルーテル市ヶ谷センター

〒162-0842
東京都新宿区市ヶ谷砂土原町1-1
TEL 03-3260-8621
FAX 03-3260-7510

◆各線 市ヶ谷駅 下車◆

- ◎JR 総武線 地上出口 徒歩7分
- ◎都営地下鉄 新宿線 A1 出口 徒歩7分
- ◎東京メトロ 有楽町線 5,6 出口 徒歩2分
- ◎東京メトロ 南北線 5,6 出口 徒歩2分

